

| | | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 学校名 | 阿南第二中学校 | | |
| ホームページURL | 生徒数 48名 | | |
| (1) テーマ 「身近な洗剤（界面活性剤を探る）」 テーマの分類（ ） 下記の欄外記載事項を参照してください。 | (2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他（ 個人追究 ） 該当学年 年 (回答可能な場合) | | |
| (3) 活動のねらい ・身近な洗剤や石鹼に界面活性剤が含まれることを知り、その働きや歴史、環境への影響等を調べる。 | | | |
| (4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等） ・市販されている洗剤、石鹼について成分・PH・蛍光反応・炎色反応等を調べる。 ・界面活性剤の性質と効果調べ（表面張力についての研究） ・石鹼の歴史調べ ・界面活性剤の環境への影響について（植物性石鹼と合成洗剤のコマツナの生育に与える影響について実験） ・石鹼作り 時数（ 41 ） | | | |
| (5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等） ・本年度は、生徒個々の学習テーマを国際関係、環境関係、健康・スポーツ関係、地域社会関係、その他の5つの分野に分け担当職員を配置。人数の多いグループや校外での活動を含むグループには担当職員を2名配置した。 | | | |
| (6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等） ・本年度は、文化祭での発表を目安に、毎週火曜日の5・6校時に位置づけ4月～10月の間に実施。 ・オリエンテーションの実施（全生徒、職員が参加し学習の進め方や注意点の共通理解） 分野によっては専門性が出るので教科担任を配置。 | | | |
| (7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際） ・個々の追究活動なので、その過程を大切に考え活動の様子を累積し、主に態度面を評価した。 ・文化祭での展示発表とまとめの会を実施し、全校生徒の前でそれぞれの研究の成果を発表する機会をとった。 ・実際の評価は、活動の様子を所見の形にし生徒及び保護者に伝えた。 | | | |
| (8) 成果と課題 ・自分の調べたいこと、体験したいことから学習が始まっているので、2時間の学習時間いっぱい活動に取り組む姿が見られた。 ・自分の足で地域を回ったり体験的な活動をしている生徒がいる反面、書籍やインターネットを使った調べ学習だけで終わっている生徒もある。生徒が抱いた疑問や課題をいかに発展させていくか、教師側の援助や関わり方を研究していく必要がある。 | | | |

テーマの分類 横断的・総合的な課題（
 -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
 -エ 福祉・健康 -オ その他） 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
 学校の特色に応じた課題